

6期生（3学年）の総合的な探究の時間

1. 年間の概要

「SDGsと自身の生き方」をテーマとし、前期には自身の生き方・在り方を見つめる活動を行った。後期では、自身が志望する分野の中で地域の課題を発見し、この課題を解決する探究活動を行うことで、SDGsの達成に向けた自身の生き方・在り方を考える探究活動を行った。年度末には、1年間の集大成として、探究内容についてまとめた小論文を作成した。

2. 年間指導計画

月	テーマ	観点		
		知	思	主
4	自身の生き方・在り方を考える			
5			○	○
6				
7				
8	個別のテーマについての探究			
9		○	○	○
10				
11				
12	探究内容の発表・小論文	○	○	

観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

3. 取り組みの具体的な内容

(1) 自身の生き方・在り方を考える

自らの進路選択に向けて、これまでの研究課題と重ね合わせて自身の進路への興味関心を深めた。それを踏まえて、自己表現力の育成や志望理由の確認など、自らの進路実現に繋がる活動を行った。

(2) 個別のテーマについての探究

現代における諸課題のうち、自身が志望する学問分野をいかして解決に貢献できる内容を問い（課題）として設定し、探究のサイクルを通して探究活動を行った。問い（課題）を解決する仮説を立て、仮説を検証するために、文献調査だけでなく、実験やインタビュー調査などを取り入れ、多面的・多角的に検証した。

(3) 探究内容の発表・小論文

(2)で行った探究内容について、これまでに身につけた力をいかしてスライドを作成し、発表を行った。また、提案する内容について小論文としてまとめた。小論文の作成については、自身が学問分野を追究するなかで、どのようにSDGsの達成に貢献することができるかについて言及する内容とした。

○主な探究内容

- ・美術館の地域格差
- ・現代社会における栄養と時短食の重要性
- ・熱中症を減らすデザイン
- ・どんな状況下でも分かりやすい会話AI
- ・持続可能なビュッフェ形式を模索する
- ・少子高齢化時代の建築～若者の視点で考える地域コミュニティ～
- ・地域の社会・医療保険政策～どこに住んでいても必要な医療や支援を受け、安心して暮らせるようになる～

4. 今年度の活動を振り返って

最終学年となる今年度は、自身の生き方・在り方を考えることを目標とした。前期は、自己表現力の向上を目指し、自身の進路を再確認した上で自己分析した内容を踏まえ、志望理由をまとめる活動などを行った。1・2年生での探究活動で身につけた力を発揮することができた。

後期には、自身が今後学びを深める学問分野を通してSDGsの達成にどのように貢献するかをテーマとし、身近な問題に目を向けて、問い(課題)を設定した。個人単位での探究を深めやすくするため、同じようなテーマを設定した生徒同士での少人数ゼミ形式にて探究活動を行った。それぞれのゼミの中で情報交換をする機会を積極的に設け、相互にアドバイスをを行うなど、他者と協働する力を伸ばした。スライドを活用した個人発表と小論文の2通りで自身の考えを述べる活動を通して、考察力および自己表現力を更に高めた。

3年間の「総合的な探究の時間」を通して、生徒たちは、自身の身近な課題が世界的な課題に繋がっていることを実感し、協働しながらこの課題の解決に向けて取り組むことの大切さを身につけてきた。今後、この経験をいかして社会で活躍する人材となることを望む。